

レースとビンゴは越後の定番

2009年4月5日 第23回新潟大学大会（新潟県五泉市）

三条 OLC
藤島由宇

雪国・新潟にもオリエンテーリングの春が来ました。

昨年度は8月に開催された新潟大会。今年は例年通りの4月に戻り、好天にも恵まれ県内外から80名あまりの参加がありました。

Nクラスのコースは、運営者が普段の大会で廻らないだけに難易度が上がりすぎてしまうケースもありますが、今回のコースはスタートからまっすぐ行けば1番コントロールがあり、その後も道なりに進めばフラッグが見えるように設定されていました。コントロール位置説明も「道の分岐・交点・曲がり」と「建物、南側」「池、北西側」と初心者にも分かりやすく、適切な内容だったと感じました。

優勝は、MAが源後知行さん（ぞんび〜ず）、WAが小林美幸さん（長野県）となりました。

小林美幸さん（写真）

…「村松を走るの初めてでした。フラッグがヤブに隠れていて見つけるのに少し苦労しましたが、走っている時にはヤブの濃さはそんなには気になりませんでした。」



なお源後さんには優勝賞品として塩

川酒造より清酒「越の関」1升が、また小林さんには新潟県民なら知らぬ者はいない（とされる）宝石みのわよりネックレスが贈られました。

表彰式の後には、前回の大会で好評を博したビンゴ大会が行われました。

今回の賞品は、新大まんじゅう・新大ビール・新大湯のみと言った新潟大グッズや、新潟国体マスコット「トッキッキ」のぬいぐるみ、元祖浪速屋の柿の種…と優勝賞品にも劣らぬラインナップで、およそ20の方が賞品を獲得しました。今回は準備の月数がいつもより少なく、要項の発表も開催日の2ヶ月前を切ってしまいましたが、次回は万全の体制でより多くの参加者が集まる事を期待したいと思います。

（藤島由宇）

宗形千晶さん

（福島県二本松市、淑加（よしか）ちゃん（3歳）と親子で参加）

…「オリエンテーリングは3回目です。1カ所だけ行き過ぎてしまった所がありましたが（3→4）、あとはコンパス無しでもまわられました。コントロール位置説明の意味がだんだん分かってきました。」

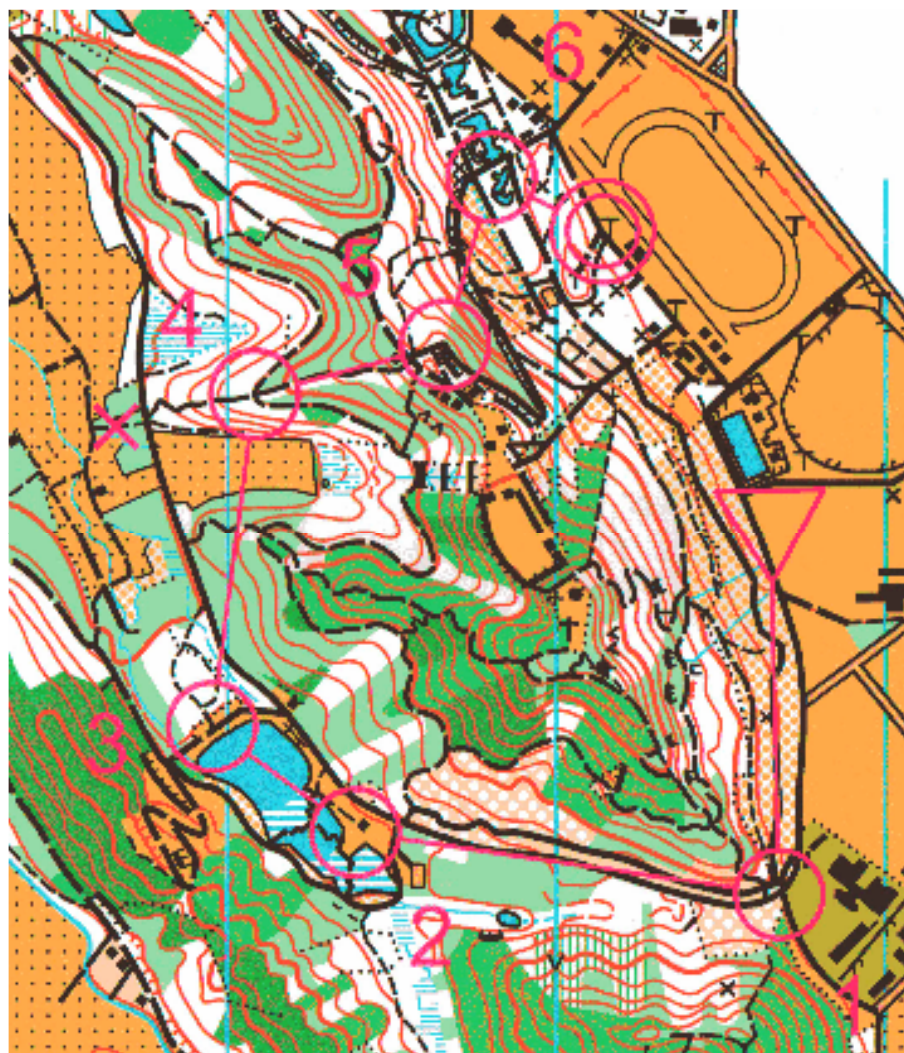
宗形竜憲さん

（二本松 OLC、千晶さんのご主人）

…「なかなかやぶいですね（笑）。似たような小さな尾根が多く悩まされましたが、それを乗り越えるのがオリエンテーリングの技術なのだろうと思います。」



フィニッシュでの宗形ファミリー



N・Gクラスのコース（距離 1,370m）